

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月26日

計画の名称	渋川市における快適で活力ある暮らしを実現するための基盤整備（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	渋川市												
計画の目標	早期に下水道処理人口普及率を向上させて生活環境の改善を推進するとともに、公共用水域への汚濁負荷量削減を図り河川等の水質改善に寄与する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,722	A	1,722	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	下水道処理人口普及率 45%(H30)から50%(H34)に増加 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	45%	48%	50%
2	汚水処理人口普及率 88%(H30)から89%(H34)に増加 汚水処理人口普及率 汚水処理施設を利用できる人口(人)/総人口(人)	88%	89%	89%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
「防災・減災を推進し住民の命と暮らしを守るための基盤整備」計画と相互に密接する計画であり、成果目標を一体的に検証する。								

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	渋川市	直接	渋川市	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第24、25、26、 26-1処理区（A1-1）	φ200～400mm L=25,000m	渋川市	■	■	■	■	■	952	-	-	
	A07-002	下水道	一般	渋川市	直接	渋川市	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第24、25、26、 26-2処理区（A1-2）	φ200～250mm L=20,000m	渋川市	■	■	■	■	■	770	-	-	
												小計						1,722		
											合計						1,722			